



第七卷第十一號

香雪

富豪の家の子女所謂おんば、日傘に育つと云ふ。然も第一等の育児法に因りて教育せらるゝにあらざるが故に、其成る所のものは放恣柔弱滔々として皆是のみ。従來我國の風習として乳母と子守とを備ふるを以て育児上の最上要件としたるが如し。然も彼等の幼児教育其物に對するや全然素人たるを免れず、其多くは普通學の素養だになく況んや専門家としての育児上の智識の如きは寸毫も之なきなり。此の如き乳母や子守を雇ふことを知りて専門の幼児教育者を雇ふを思はざるは不審かしき限りなりと云ふ可し。將來其子女をして第一流の完全なる教育を受けしめんとせば宜しく先づ第一等の幼児教育者を雇聘して先づ其始めを完くす可きなり。始め完からずして終の美ならんことを希ふは座して黄河の澄まんことを望むに等しかる可く。幼児時代に完全なる教育を施さずして小學校中學校の教育の完全ならんことを希ふは無理なる注文と云ふ可し。(湘南)